

令和3年度進捗評価シート
湯浅町歴史的風致維持向上計画(平成28年3月26日認定)
(最終変更(軽微) 平成31年3月22日)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 歴史的風致維持向上に向けた連携及び推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 良好な景観の形成に関する施策との連携	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	3
2 重要伝統的建造物群保存地区拠点施設整備活用事業	4
3 大仙堀環境整備事業	5
4 歴史的風致形成建造物修理活用事業	6
5 熊野古道及び重要伝統的建造物群保存地区周辺道路美装化事業 街路灯等整備事業	7
6 案内板等整備事業	8
7 防災施設整備事業	9
8 湯浅駅周辺整備事業	10
9 文化財等調査事業	11
10 空き家利活用事業	12
11 文化財公開等普及啓発事業	13
12 伝統行事等継承支援事業	14
13 特産物等PR総合支援事業	15
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・活用の現状と今後の方針	16
2 文化財の保存修理等	17
3 文化財の保存・活用に関わる各種団体との連携	18
4 湯浅町文化財保存活用地域計画の認定	19
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	20

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	21
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和3年度
歴史的風致維持向上に向けた連携及び推進体制		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
本計画の実現、推進に向けて、教育委員会、政策企画課、産業建設課、ふるさと振興課及び総務課が中心となり、国、県等関係機関との協議を行うとともに適切な支援を得る。また、歴史まちづくり法第11条の規定に基づき設置した推進協議会は、計画の実施に関する連絡・調整を行う。なお、必要に応じて、湯浅町都市計画審議会や湯浅町文化財保護審議会、湯浅町伝統的建造物群保存地区保存審議会、文化財所有者等と連絡調整を行うものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度の機構改革により、計画推進体制は、教育委員会(文化財保護)、政策企画課(まちづくり)、産業建設課(都市計画・道路・産業等)、ふるさと振興課(観光)、総務課(防災)の庁内体制となった。庁内連絡会議は、3回実施し、歴まち計画全体の進捗報告や各課にまたがる案件の検討などを行った。
なお、法定協議会である「湯浅町歴史的風致維持向上計画推進協議会」は、次年度初めに開催するスタイルに改めるため、令和3年度は開催していない。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

湯浅町歴史まちづくり庁内連絡会議の様子



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
良好な景観の形成に関する施策との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 [都市計画法]本計画における重点区域は、一部を除き都市計画区域に含まれており、都市計画マスタープランにおいて、豊かな自然・歴史的資源を取り入れたまちづくりを推進する旨定めている。都市計画区域に指定されていない周辺地域においても、中心市街地等と一体的な整備や地域間の連携を強化することで課題に対応し、バランスのとれた整備を進めることとする。
 [景観法]本歴史的風致維持向上計画の内容を反映した景観計画の策定等を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度に、湯浅町都市計画マスタープラン(平成12年度策定)を、重伝建選定や有田圏域都市計画区域マスタープラン(和歌山県策定)、湯浅町歴史的風致維持向上計画との整合性を図り、歴史的景観の維持、良好な景観形成をまちづくりの目標に盛り込んで改訂している。また、令和3年度からの第四次湯浅町長期総合計画では、町の将来像を「歴史と人の温もりで支え合うまち 湯浅」として、良好な市街地環境を保全することとし、自然景観や町並み保存、空家対策を進めるとしている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

第四次湯浅町長期総合計画(令和3年3月)

《町の将来像》
 歴史と人の温もりで支え合うまち 湯浅
 ～いつまでも安心安全に住み続けられる未来の創造～

基本目標	施策展開
1 安心安全に暮らせるまちづくり	1-1 町の基礎整備の推進 1-2 自然災害に強い基礎整備の推進 1-3 防災・消防体制の充実 1-4 交通の利便性の向上 1-5 環境衛生の充実 1-6 生活安全の確保
2 福祉・医療が充実し、お互いを認め合えるまちづくり	2-1 高齢者福祉の推進 2-2 子ども・子育て支援の推進 2-3 障がい者(児)福祉と社会保障の充実 2-4 健康増進と保健・医療の充実 2-5 人権意識の高揚と男女共同参画の実現
3 地域資源を活かす、活気あふれるまちづくり	3-1 観光業の振興 3-2 農林業の振興 3-3 水産業の振興 3-4 加工業の振興と雇用の創出
4 豊かな心身を育み、歴史・伝統・文化を大切にすまちづくり	4-1 教育環境の充実 4-2 生涯学習の推進 4-3 歴史・文化財の保護
5 持続可能なまちづくり	5-1 協働と交流によるまちづくりの推進 5-2 移住・定住支援の充実 5-3 行政資源の推進

(1) 市街地の整備

- 「湯浅町都市計画マスタープラン」・「湯浅町歴史的風致維持向上計画」をはじめとする関連計画と連携して、伝建地区の適正な保全に努めるとともに、災害にも強い安全で調和のとれた市街地整備を図ります。
- 地域活性化の拠点となる駅前複合施設「湯浅えき蔵」周辺に駐車場・駐輪場・公園等を整備し、市民の利活用を推進します。
- 平成30(2018)年度に策定した「熊野古道及び重伝建地区周辺道路等整備計画」により、安全で利用しやすく、町並みの景観に配慮した道路整備を進めます。
- 安心安全な町づくりの推進並びに良好な景観及び生活環境の保全のため、空家等の適切な空家対策を行うとともに、特定空家⁽⁹⁾については、空家法に基づく対策を進めます。
- 市街地における土地に関する権利を確認して明確にする地籍調査を継続して実施し、公共事業の円滑化や土地の権利関係の明確化、公租公課等の負担の公平化等を目指します。

(2) 景観の保全

- 本町の豊かな自然環境について、誇れる地域資源として適切な保全・活用に努めるとともに、森林・丘陵地については、無秩序な開発計画を未然に防止します。
- 良好な都市景観を育むため、山林や海岸の豊かな自然景観、伝統的な町並みや寺社等の周辺環境等の歴史的・文化的景観等の維持・保全に努めるとともに、これらの保全を通じて、郷土への誇りや愛着の向上、観光誘客の資源として磨き上げることに努めます。

湯浅町都市計画マスタープラン



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～

支援事業名 伝統的建造物群基盤強化事業(保存修理)

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物に特定している歴史的建造物の保存修理とその他の建築物の修景による整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要伝統的建造物群保存地区内の建造物の計画的な修復や修理を実施することにより、適切な保存を図ることができた。

□令和3年度の実績

重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 ・建築物の修理に対する補助 3件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

重要伝統的建造物群保存地区内における修理・修景に対する補助



修理事物
(見矢家住宅主屋)



修理事物
(木下家長屋)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区拠点施設整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～

支援事業名 町単独事業、伝統的建造物群基盤強化事業(公開活用)、地方創生推進交付金

計画に記載している内容 歴史的風致を活かしたまちづくりの拠点施設として必要な歴史的建造物を保存・整備し、重要伝統的建造物群保存地区の公開活用を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重伝建地区内の元醤油醸造家の建物、旧栖原家住宅について、主屋内装の工事が完了し、便益棟を含む西側敷地の整備を進めている。
既存の拠点施設は、引き続きコロナ禍の影響を受けているものの対策を行いながら活用をしている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等
旧栖原家住宅整備工事



旧栖原家住宅 主屋



主屋の内部

拠点施設の公開活用



甚風呂



北町ふれあいギャラリー

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
大仙堀環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～

支援事業名 町単独、地方創生推進交付金

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区の象徴である大仙堀の保存と水辺環境の整備を行い、住環境整備と観光振興を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度に実施した調査成果(石積みレーザー探査・ボーリング調査等)を踏まえた整備案について検討し、港湾管理者である和歌山県と協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

大仙堀



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
歴史的風致形成建造物修理活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～

支援事業名 町単独事業、社会資本整備総合交付金

計画に記載している内容 歴史的風致の活動が行われる建造物及び良好な市街地環境を構成する建造物の歴史的風致形成建造物への指定を検討し、それらを保存活用するための取組みを進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年12月23日付けで、「湯浅駅旧駅舎」を歴史的風致形成建造物に指定した。旧駅舎の整備活用については、株式会社つぎと株式会社紀陽銀行と湯浅町の3者協定に基づき、関係者からの意見聴取を行いながら、活用を念頭においた整備を計画している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

「湯浅駅旧駅舎」の歴史的風致形成建造物指定

歴史的風致形成建造物 台帳

指定番号 第 1 号

指定年月日 令和 3年12月23日

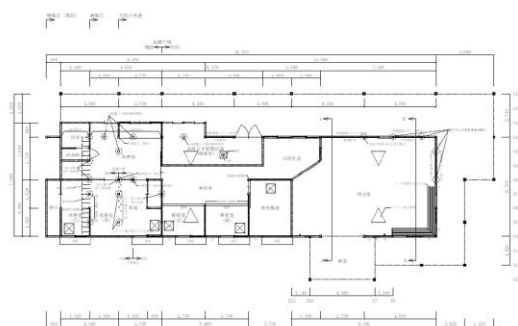
建造物の名称 湯浅駅旧駅舎

建造物の所在地 有田郡湯浅町湯浅1075番地2

所有者 和歌山県有田郡湯浅町青木668番地1
湯浅町長 上山 章善

指定理由 国鉄紀伊湯浅駅が開業した昭和2年頃に建てられ、改修をしながら使われてきたことが調査によって明らかとなっている建造物であり、当該建造物は、熊野古道から続く交通の拠点としての湯浅町の歴史的風致を形成する建造物として貴重であるため。

指定範囲



湯浅駅旧駅舎 平面図



意見交換会の様子

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
熊野古道及び重要伝統的建造物群保存地区周辺道路美装化事業 街路灯等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～、平成14年度～

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容
 熊野古道や重要伝統的建造物群保存地区とその周辺の街路について、良好な市街地環境の保全整備と来訪者の周遊性を高めるために、復元、再生、町並みとの調和、歩行者の利便性など整備手法を十分検証し、美装化を進める。
 重要伝統的建造物群保存地区とその周辺や熊野古道において、良好な市街地環境にふさわしい街路灯などを整備し、歴史的景観の向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観に配慮した舗装等を検討してきた、山田川の右岸を通る熊野古道(町道湯浅126号線)の歩道整備の施工に着手した。また、それ以外の熊野古道について、景観に配慮しつつ歩行者の安全性・回遊性を高めるための美装化の方針を、庁内連絡会議において検討・協議している。
 伝建地区の街路灯については、交換の際に使用するものを電球色にすることで、順次統一していつている。

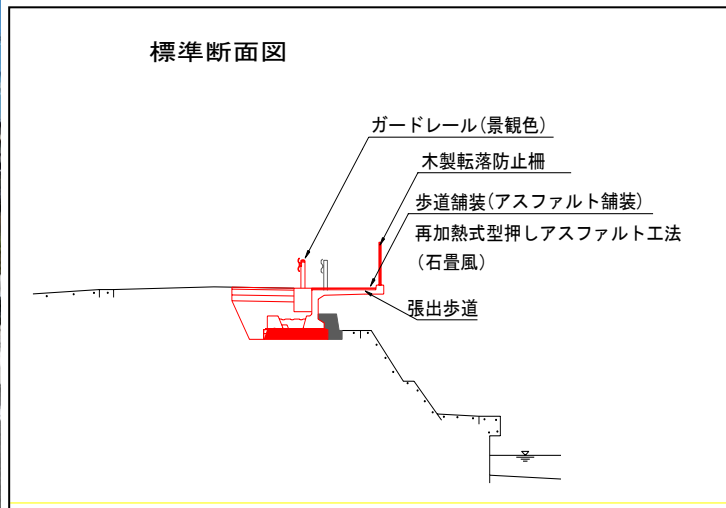
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

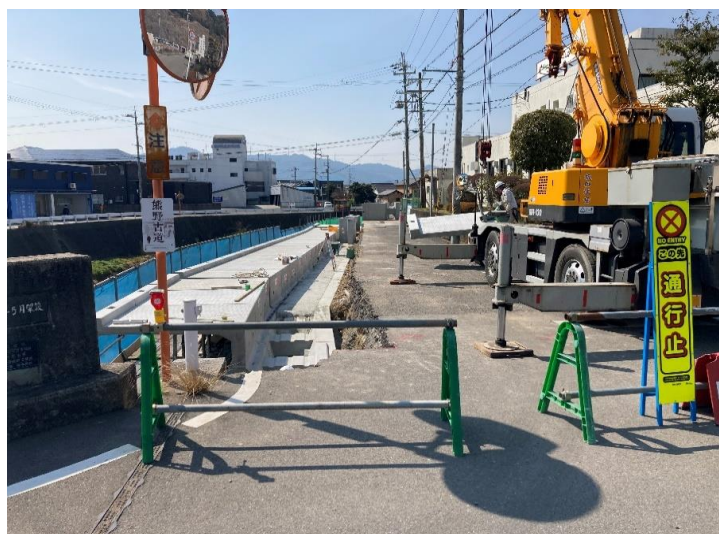
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

町道126号線(熊野古道)の整備イメージ



飛越橋周辺の施工状況



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
案内板等整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～

支援事業名 歴史的風致活用国際観光支援事業、町単独事業

計画に記載している内容

熊野古道や重要伝統的建造物群保存地区とその周辺における案内板や主要な文化財などの説明板の多言語化・統一デザインを検討し設置するほか、来訪者の周遊性と利便性の向上のため必要な場所には、オープンスペースを活用した広場、駐車場、トイレなど、周遊性向上のための施設の整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

紀州湯浅日本遺産協議会が実施主体となり、JR湯浅駅構内のホームや跨線橋階段に、湯浅町のPR看板等を整備した。また、伝建地区内の北橋付近の県道沿いに、和歌山県が公衆便所と駐車場が備わった「湯浅まちなみの駅」を計画し、工事を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

JR湯浅駅観光案内サイン整備事業



施工中の湯浅まちなみの駅



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
防災施設整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～

支援事業名 町単独事業、伝統的建造物群基盤強化事業(防災施設等)

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区において、初期消火活動等に有効となる歴史的景観に配慮した防災設備を検討し、設置を進めるとともに、地域住民による防災訓練に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

熊野古道に近い本町地区に、耐震性防火水槽を設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等
本町区への防火水槽設置



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
湯浅駅周辺整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～

支援事業名 町単独事業、社会資本総合整備交付金事業(都市構造再編集集中支援事業)

計画に記載している内容 昭和2年(1927)開業当時の駅舎の文化財指定等による保存・整備をはじめ、町の玄関口である湯浅駅とその周辺において、歴史的な魅力の発信や観光客受入機能の強化を目的とした総合的な駅周辺整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

駅前駐車場の周辺を、当地が熊野古道を歩く貴賓たちが休息した場所と伝承されることを踏まえて、「御茶殿(おちゃと)公園」と名付けた公園として整備を行い、令和4年2月1日より供用を開始した。引き続き、旧駅舎とその周辺の整備検討を進めている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等
完成した「御茶殿(おちゃと)公園」



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
文化財等調査事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～

支援事業名 町単独事業、埋蔵文化財発掘調査等事業、文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 町内にある建造物、史跡、民俗文化財などの文化財の調査を実施し、学術的価値を確認すると共に、未指定文化財の指定等や、既指定等文化財の上位指定を進める。また、醍醐寺金堂の湯浅での所在地の研究や、歴史資源のリストアップとアーカイブ化を進める。

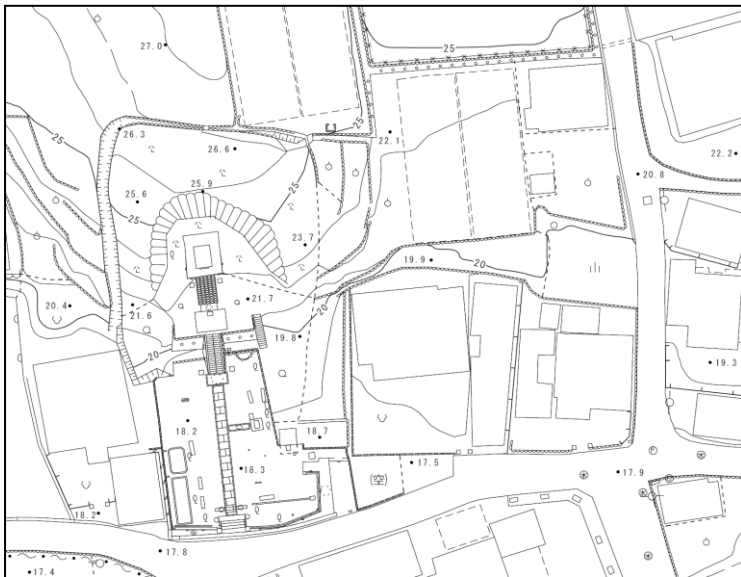
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

熊野古道の王子社でもある逆川王子跡(逆川神社)の詳細な地形図作成・測量調査を行って、熊野古道関連文化財としての基礎資料とした。また、周知の埋蔵文化財包蔵地における工事立会は4件行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

逆川王子跡 測量調査



周知の埋蔵文化財包蔵地 工事立会調査の実施



島の内古井戸(R3.6.11)



島山館跡(R4.1.17)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
空き家利活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～

支援事業名 町単独事業、文化財建造物等を活用した地域活性化事業

計画に記載している内容 重点区域を中心とする町内の空き家において、まちづくりと連携した様々な活用提案の支援を行う。また、UIターン移住の希望者や農業・漁業の新規就労者の住まいなど、定住促進のための利活用の促進を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

株式会社つぎと・株式会社紀陽銀行と湯浅町の3者による包括連携協定を締結し、町内の古民家等の資源を活用したまちづくりの推進、湯浅駅旧駅舎の活用整備等を進めていくこととしている。また、令和4年度より、県外からの移住者や新規起業者を支援する補助の仕組みをスタートするために検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

湯浅駅旧駅舎の活用整備検討



古民家(空き家)の調査検討



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
文化財公開等普及啓発事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 本町固有の歴史的風致に関する文化財の公開・展示や講演会、ワークショップ、見学会の開催、パンフレット等の作成など、さまざまな形での情報発信や普及啓発のための取組みを進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

3月に2回の町民歴史講座を実施した。講座の際には、関連する文化遺産の展示やパネル紹介などを同時開催し、講演とあわせて文化遺産に親しむ機会を設け、好評を得た。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

第1回「菊池海荘と菊池(垣内)家史料」
(R4.3.21)



第2回 湯浅町文化財保存活用計画認定
「ホンモノを誇りに～湯浅町の歴史・文化遺産の多層性～」
(R4.3.29)



評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
伝統行事等継承支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 町単独事業、文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 町内各所にある社寺等で継承されている祭礼などの伝統行事や民俗 芸能、町内に伝わる風習や食文化など、幅広い伝統文化を継承するための記録・用具等整備・後継者育成・情報発信など総合的な支援に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

継続する新型コロナウイルス感染の影響により、神社の祭礼やシロウオ漁普及啓発のための「シロウオまつり」は令和3年度も開催できなかった。顯國神社の三面獅子は、観光協会の取組みに協力する形で練習を行った。シロウオ漁については、今回から新たに1名の従事者が漁に参加しており、漁の担い手が増えた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

湯浅町観光協会のPRポスター作成と顯國神社三面獅子



広川河口のシロウオ四つ手網漁



評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
特産物等PR総合支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成14年度～

支援事業名 地方創生推進交付金事業、日本遺産魅力発信推進事業、地方創生拠点整備交付金事業

計画に記載している内容 醤油・金山寺味噌、シラスをはじめとする水産物、柑橘類などのPRや情報発信において、歴史的価値付けをプラスし、地域ブランドの確立を目指してPR等を推進する。同じく、特産物を生産する歴史的環境保全のため、湯浅湾とその周辺に広がる段々畑の歴史的景観の保全整備等に努め、担い手育成など生産事業者に対する支援に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度に日本農業遺産認定を受けた「みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム」について、チラシを作成し普及啓発につとめた。また、温州みかんの品質の向上及び景観を維持するため、段々畑の石積みを補修する技術を学ぶ取り組みが農業従事者らによって行われた。
 全国でのPR活動の機会は、コロナ禍により少なかったものの、石川県小松市で行われた日本遺産サミットに参加して特産物の普及啓発につとめた。またふるさと納税を通じた特産物の普及啓発も継続して行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

「みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム」の普及啓発チラシ



日本遺産サミットin小松 (令和3年11月13日～14日)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
文化財の保存・活用の現状と今後の方針		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 指定等文化財については、文化財保護法や関係法令に基づいて適切な保護措置を講じる。未指定文化財については、現状把握を行い文化財的価値を調査し、必要な措置を講じる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

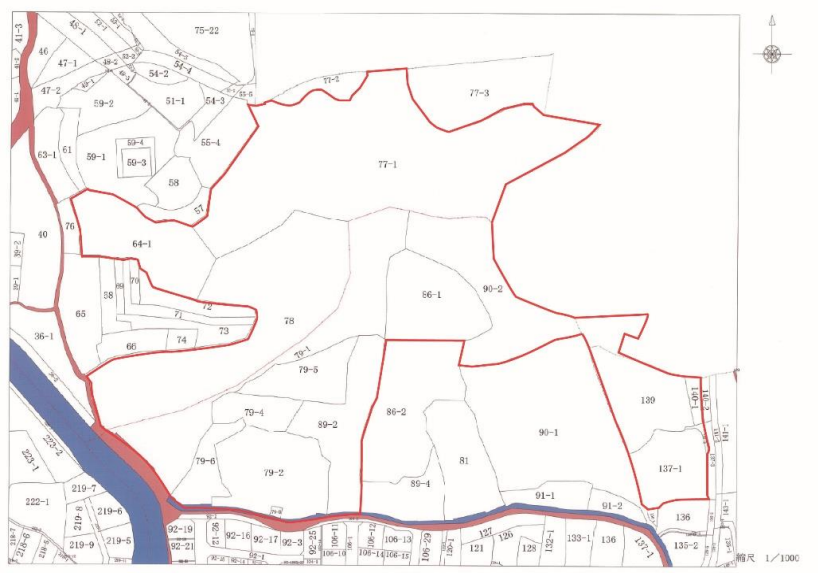
令和3年3月に国史跡指定を受けた「湯浅党城館跡 湯浅城跡」について保存活用を円滑に進めるべく、公有化事業に着手し令和3年度は5筆について公有化した。また、今後の保存活用のための「湯浅党城館跡保存活用計画」を、有田川町とともに策定すべく、2回の委員会の開催を行って令和4年度完成に向けて協議を行っている。
 ほか、令和元年度に実施した湯浅町内歴史的建造物悉皆調査の成果を踏まえて、建造物の登録文化財への登録可能性のある物件の抽出を行い、順次働きかけを行う予定である。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



湯浅党城館跡 (湯浅城跡)



歴史的建造物悉皆調査で個別調査を行った立石茶屋

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
文化財の保存修理等		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の保存修理が必要な場合は、詳細な調査を行うと同時に、文化財の価値の所在を明らかにし、適切な文化財の価値の維持を図りつつ、計画的に実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

施無畏寺鎮守社(県指定)は令和4年度以降の修理事業化に向けて準備を行った。また、和歌山県教育委員会が実施する仏像防犯の取組みを連携して行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

施無畏寺鎮守社



和歌山県教育委員会の仏像防犯の取組

仏像盗難対策「守る」プロジェクト 防犯装置設置補助事業について

県教育委員会文化遺産課

10年以上にわたる仏像盗難被害の頻発を受け、県では、令和2年度から仏像盗難対策事業を実施することとなりました。その一環として、県指定文化財の仏像を所有する寺社のうち、特に盗難の危険性が高いところについて、防犯装置の設置補助を行います。

●対象寺社

- ・県指定文化財の仏像を所有する寺社のうち、特に盗難の危険が高い寺社
 (住職が常駐していない、防犯装置を設置していない、等)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
文化財の保存・活用に関わる各種団体との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 保存活用に関わる各種団体の連携や、ネットワーク化、組織強化、新たな団体の設立促進などを通じて、町全体で文化財を支えていく体制の構築に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度に、全国で初めてとなる文化財保存活用支援団体指定を行った一般社団法人和歌山県建築士会とは、旧栖原家住宅整備工事における監理業務委託を行ったほか、随時行う協議や、ヘリテージマネージャースキルアップ講習会への協力など、相互に連携をはかりながら、ヘリテージマネージャーの育成や歴史的建造物の保存活用に関する取組を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

和歌山県建築士会との協議



ヘリテージマネージャースキルアップ講習会
(R3.11.13)



評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
----	--------	-------

湯浅町文化財保存活用地域計画の認定		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------------	--	---

計画に記載している内容 文化財の周辺環境も含めて保存活用の検討を行い、文化財指定の有無を問わず、文化財の保存・活用を進めることが歴史を活かした地域活性化につながるという町民意識の醸成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

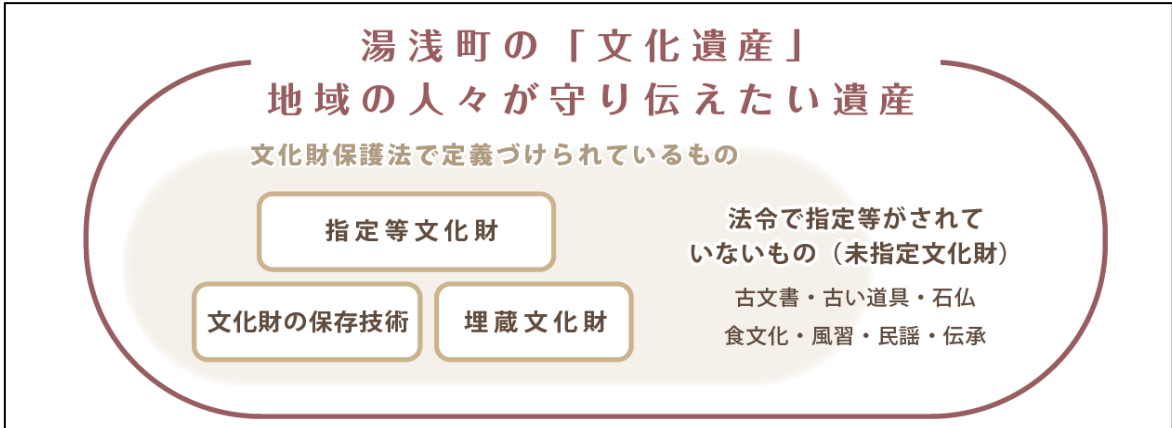
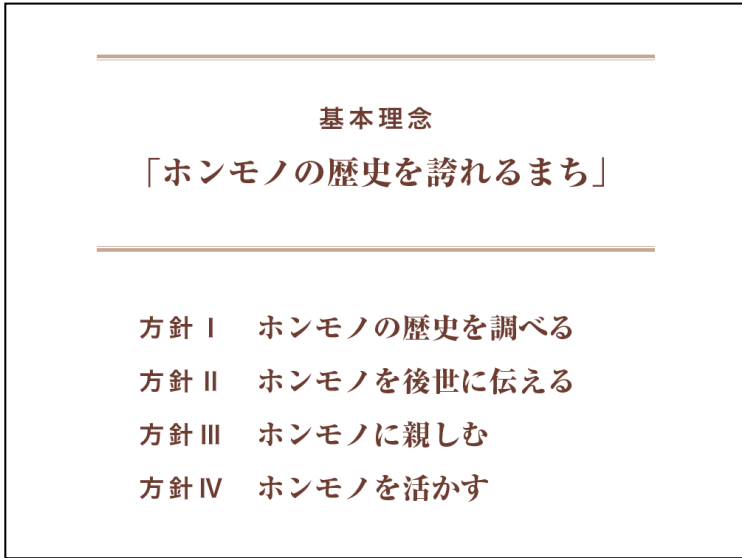
令和3年12月17日に、和歌山県では初となる湯浅町文化財保存活用地域計画が認定された。計画の作成にあたっては、過去の調査成果等を整理して地域の文化遺産のリスト化をはかり、そこから見いだされる地域の歴史の特徴や、文化遺産をめぐる課題を把握した。計画は、「ホンモノの歴史を誇れるまち」を基本方針に据え、向こう10年間(令和12年度まで)の措置として、調査研究の継続や、文化遺産への保護措置の適用、地域住民の関わり強化、全体的な普及啓発による町内外への魅力発信などをあげている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和3年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
マップ片手に日本遺産巡り 湯浅・広川両町製作	令和3年4月6日	毎日新聞	
映画「紀州騎士」撮影進む 秋の文化祭で上映へ 湯浅の老舗醤油会社などで	令和3年8月19日	産経新聞	
つるしひな 町中元気に	令和3年9月12日	朝日新聞	
湯浅の町並み 火から守って 全国消防機器協 防火用品を寄贈	令和3年10月1日	読売新聞	
ゆあさ醬祭り 文化・伝統を引き継ぐ	令和3年11月6日	有田タイムス	
湯浅・広川和装体験 歴史ある町並みを散策	令和3年11月25日	有田タイムス	
わかやま文化財めぐり 湯浅小学校講堂(湯浅町)	令和3年12月14日	読売新聞	
文化庁 湯浅町の文化財保存活用地域計画を認定	令和4年1月1日	和歌山特報	
シロウオ漁を前に 広川のボランティア清掃	令和4年2月1日	和歌山特報	
国史跡 湯浅党城館跡 湯浅城跡 一般公開	令和4年2月10日	有田タイムス	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>コロナ禍において様々なイベントや活動が制限される中ではあったが、湯浅町の歴史的風致をめぐる取組み等について、幅広く取り上げて報道された。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			

法定協議会等におけるコメント

評価対象年度	令和3年度
・ 法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和4年度 湯浅町歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 令和4年4月25日(月) 14時00分～	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none">◆地域の人々が、様々な形で頑張っている。甚風呂の写真にある吊るし飾りなどもそう。湯浅町はせっかく色々な取組みがあるのだから、それらをもっとアピールすればよい。◆空き家対策について、単に危険だから除却とすると、歴史的価値が評価されないままに失われることになる。専門家の判断を受けるシステムや保全についても考えておかなければならない。◆この評価シートの様式の中では難しいかもしれないが、町民の息づかいがあまり見えてこない。町民や、例えばヘリテージマネージャーといった民間に人たちの頑張りがとても大切。◆未指定文化財の中には、勝楽寺の須弥壇など、保護措置の必要性があると考えられるものがある。また指定文化財にも修理等の必要があるものがあるのではないか。◆文化財保存活用地域計画の認定により、歴まち計画との関係性や位置付けはどうなるのか、歴まち計画は計画期間が満了したら文化財保存活用地域計画に移行するといったイメージなのか。	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none">◆この進捗評価シートは、歴まち計画で示している事業の進捗を確認するものであり、スペースも限られていることもある。写真のキャプションなどでの工夫や、他の方法による情報発信などを考えたい。◆伝建地区外については、登録文化財の仕組みを積極的に推進していくことで、歴史的価値が認められる建造物については少しでも保存・維持できるようにしていきたい。◆ヘリテージマネージャーとは、文化財保存活用支援団体の指定による関わりを持っていく。◆勝楽寺については、数年前に文化庁の調査官にも見てもらっている。文化財の修理については所有者の負担も含め意向によるところが大きい。収蔵庫に関することも含め、必要に応じて県・国との協議を行う。◆文化財保存活用地域計画は、大きく目指すところは歴まちと同じであるが、歴まち計画の中でも言っている文化財に特化した内容について、より詳細に計画立てたもの。地域計画が出来たから歴まち計画はなくなる、ということはないが、歴まち計画は令和7年度までの計画であり、2期目の計画をするかどうかは、現在計画で位置付けている事業の進捗を踏まえて今後検討していくことになる。	